


論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 744号	氏名	内田 玲麻
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	平山 謙二	
	副 査	安田 二郎	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、デングウイルスの種特異的感染の分子機序を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 デングウイルス臨床分離株を用いて、ヒト由来培養細胞 (HeLa) への感染と感染時の I 型インターフェロン誘導を、免疫学的手法およびウイルス学的手法で評価し、さらにウイルスの複製能と細胞内の局在性について近縁のウイルスである日本脳炎ウイルスとの比較検討も行っている。その際、統計学的解析法でコントロールとの比較評価もしており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ヒト由来培養細胞モデル HeLa を用いて、デングウイルスが感染し複製することをふまえた上で、複製時に生じる二本鎖ウイルス RNA が細胞質内に認められず、細胞内小胞に於いて複製している可能性を見いだした。一方で感染細胞から抽出した RNA を細胞に導入した際の I 型インターフェロン誘導には日本脳炎ウイルスと差がないことから、デングウイルス感染では二本鎖ウイルス RNA が細胞内小胞に長時間隔離され自然免疫系の活性化を回避していると考えられた。本実験結果の意義について十分な文献的考察を行っており、今後のデングウイルス感染制御への研究進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は医科ウイルス学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと